

規格

新規に制定、または改正発行されたISO、JISをご紹介します。

●ISO 18930:Imaging materials-Pictorial colour reflection prints-Methods for evaluating image stability under outdoor conditions (画像の屋外耐候性試験) (2011年9月21日発行)

キセノン光試験cycleA法により寿命評価を行う。

Table-1—ISO 18930 xenon arc exposure cycle A

Cycle segment	Time min	Irradiance-broadband (300 to 400nm) W/m ²	Black panel temperature °C	Chamber temperature °C	Relative humidity %	Water spray
1	40	60±2	63±2	40±2	50±6	None
2	20	60±2	—	40±2	—	Front
3	60	60±2	63±2	40±2	50±6	None
4	60	0	—	38±2	—	Front

尚、検証のため、屋外暴露(東京スガ試験機を含め8ヶ所)及び促進試験を(スガ試験機を含め10ヶ所)でラウンドロビンテストを実施中。

●JIS Z 9117:2011 再帰性反射材

- ・規格名称が「保安用反射シート及びテープ」から「再帰性反射材」に変更された。再帰性反射材料の種類と適用環境により、屋外暴露5年及び10年の性能を規定。促進耐候性試験は、サンシャインカーボンアーク光源に加え、キセノン光源が新たに規定された。キセノンは放射照度180W/m²(300~400nm)の試験方法が記載されている。

色の測定はJIS Z 8722条件a(45°照明0°受光)、光沢の測定はJIS Z 8741による。

●JIS L 0801:2011 染色堅ろう度試験方法通則※

- ・試験片、添付白布などの水分調整において、相対湿度を(65±2)%から(65±4)%に変更。
- ・添付白布について、実際には調達できないものが増えてきたため、調達の難しいものについては代替を付け加え、また受渡当事者間の協定によって添付白布の繊維の種類を変えてもよいとした。

●JIS L 0803:2011 染色堅ろう度試験用添付白布※

- ・最近の生産及び使用の実態を踏まえて、添付白布の種類の中の単一繊維布ビスコースレーヨン(4-1,4-2)、及び単一繊維布ジアセテート(6-1)の名称を、JISの用語に合わせ、それぞれ単一繊維布レーヨン(4-1,4-2)、及び単一繊維布アセテート(6-1)と修正した。

●JIS L 0844:2011 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法※

- ・試験の種類は対応国際規格のうち利用頻度が高いA法“ISO 105-C10”及びB法“ISO 105-C06”を本体に、それ以外のC法“ISO 105-C08”、D法“ISO 105-C09”及びE法“ISO 105-C12”を附属書とした。

※JIS原案作成団体:スガウェザリング技術振興財団

編集部

本社・研究所 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-4-14 ☎03-3354-5241 Fax 03-3354-5275
 日高・川越工場 〒350-1213 埼玉県日高市高萩1973-1 ☎042-985-1661 Fax 042-989-6626
 名古屋支店 〒465-0051 名古屋市名東区社が丘1-605 ☎052-701-8375 Fax 052-701-8513
 大阪支店 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町3-23 ☎06-6386-2691 Fax 06-6386-5156
 広島支店 〒733-0033 広島市西区観音本町2-12-11 ☎082-296-1501 Fax 082-296-1503

スガ試験機株式会社
 Suga Test Instruments Co., Ltd.
 www.sugatest.co.jp